

授業科目名 <英訳>	美学美術史学(特殊講義) Aesthetics and Art History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 岡田 暁生					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 前期	曜時限	火3	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	アヴァンギャルド音楽の系譜と没落										
【授業の概要・目的】											
<p>「前衛音楽」とはきわめて20世紀的な歴史的現象である。言い方を変えれば、「前衛的である」ことは今や既に古びた過去となったと言ってもいい。しかし20世紀のとりわけ第二次大戦後の西側における1950・60年代の音楽は、アヴァンギャルド芸術の一つの頂点であり、今こそ新たにそれが提起した問題に新たな光を当てることの意味はある。前期は第一次大戦勃発前後における前衛音楽の勃興、戦間期における反動、そして第二次大戦後の西側の前衛音楽の系譜をたどる。</p>											
【到達目標】											
20世紀後半の音楽史潮流を、とりわけ1950・60年代における現代音楽ならびにモダンジャズの歴史を中心として、その基本知識を習得すること。											
【授業計画と内容】											
<p>予定しているのは以下のテーマであり、それぞれに3回程度の授業を充てる予定である。</p> <p>1 - 3回：第一次大戦前夜と新音楽の誕生 4 - 6回：戦間期の新古典主義と反動 7 - 9回：ロマン派的内面芸術としての新ウィーン楽派 10 - 12回：第二次大戦後のアメリカの国策としての前衛音楽 13 - 15回：音楽の科学化とセリー音楽</p>											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
レポートによる。評価は到達目標の達成度に基く。独自の工夫が見られるものについては、高い点を与える。単なる既知情報のまとめではなく、各自の明快な問題意識およびその展開を最重視する。											
【教科書】											
使用しない 毎回レジメを配布する。。											
----- 美学美術史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

美学美術史学(特殊講義)(2)

[参考書等]

(参考書)

岡田暁生 『西洋音楽史』(中公新書)

[授業外学習(予習・復習)等]

授業で扱う音楽についてYoutubeなどで適宜実際に聴くこと

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。